



2016年2月19日発行 第2号

自治労北海道日高地方本部青年部

発行・編集 早川 裕太

(浦河町職労)



2016日高地方本部青年部春闘討論集会終了！！

1月30日・31日新冠町のし・コードの湯ホテルヒルズにおいて、8単組・総支部63人の仲間が参加し、2016日高地方本部青年部春闘討論集会が開催されましたので、集会の様子についてお伝えいたします。

①青年部長挨拶・来賓挨拶

集会は東青年部長の挨拶で始まり、日高地方本部の大澤副執行委員長から来賓の挨拶をいただきました。



東青年部長の挨拶

②春闘提起

釣副部長から2016春闘方針提起がありました。

日高地方本部青年部としては、組合員の賃金に改めて目を向け、情勢や仲間の意識、起きている実態を再確認するとともに、各単組・総支部の基本組織と連携し、組合員全体で取り組むことを提起し、参加者全体で確認しました。

③講演

「春闘と賃金について」講師：佐藤道本部青年部書記長

「春闘とは春季生活闘争の略で、日本では毎年2月ころから行われ、賃金の引き上げや、労働時間の短縮などといった労働条件の改善を要求する労働運動のこと」という、春闘についての基礎的な学習や、公務員の賃金はどのようにして決定するのか、賃金闘争が盛り上がっていない現状を踏まえ、どのようにして賃金要求を組織として行っていくべきかなど貴重な講演をしていただきました。



講演のようす



佐藤道本部青年部書記長

④分散会（1日目）



分散会は各単組・総支部から選出されている地本幹事が座長を担い、8つのグループに分かれ、1日目は1時間30分の分散会を行いました。分散会では「賃金が低いため貯蓄ができない」「親に借金をして生活している」などの賃金に対する不満や、「課によって時間外手当の付け方が違う」「超勤をどれだけしても、予算の関係から上司が勝手に超勤時間を決めている」「休日の超過勤務は代休処理となるが、上司が休んでないから自分も休めない雰囲気が出てきている」といった超過勤務の実態があげられました。

⑤交流会

分散会後はみなさん大好き交流会です。交流会には56人が参加し、普段話ができない他単組・総支部の仲間と世間話で盛り上がりました。中には別々の町で働く兄弟がいたり、顔がそっくりな赤の他人がいたり賑やかな交流会となり、一村一品にあわせて各単組・総支部でユニークな紹介が行われました。



本当の兄弟はどっち!?!?



開催地の新冠町職！
榊部長には「日替わりの愛人」がこの中にあるそうです。誰が何曜日かわかるかな？笑
答えは参加した人に聞いてみてね！



一村一品をかけたゲーム大会！
今回は組合のことを知ってもらうため、自治問題や市町村漢字ゲームなどで盛り上がりました。

⑥2日目 分散会・分散会報告・集会総括・団結ガンバロー

遅くまで交流した参加者は少し眠たそうでしたが、2日目がスタート。分散会の続きからで、1日目に討論した内容をさらに掘り下げ、模造紙を使った分散会報告に向けてみなさん真剣に取り組んでいました。報告では、「時間外勤務・賃金・職場環境の問題」について、賃金の要望額を算出したり、時間外勤務のルールを明確にさせようといった提案がされるなど青年職員が抱えている共通の問題点が改めて浮き彫りとなりました。また、集会総括では、分散会報告を受けての集約と2016国民春闘を闘い抜くための意思統一を行い、最後に東青年部長の団結ガンバローで集会を終えました。

参加者のコメント

村田 捺美さん(全道庁日高支部)

若手職員の賃金が少ないことが改めて感じたことと、春闘について基礎的なところから学びました！



松田 直也さん (新ひだか町職)

幹事として運営に携わりましたが、みんなに負けないくらい楽しみました！

佐々木 琴美さん(新冠町職)

人間関係、超勤、休暇取得など皆それぞれ大変な思いをして働いていることが今回の春闘でわかりました。こういう場で伝え合って解決策を考えられることは良いと思います。



会田 千皓さん(新冠町職)

今回、参加者が非常に多く、交流を深めることができました。この繋がりを大切にしていきたいと思います。

編集者より：春闘に参加されたみなさん大変お疲れ様でした。今回の春闘では初座長の幹事が多く、行き届かない部分もあったかと思いますが、みなさんに助けをもらいながら無事終了できました。今後も楽しんでもらえるよう頑張りたいと思います。

また、開催地の新冠町職のみなさんには二次会場の確保や会場設営、物資提供などたくさんのご協力をいただきました。本当にありがとうございました。

次回の担当は、日高町職の佐藤幹事です！



集会最後に記念撮影！